

平成 25 年度入学試験

一 般 学 科 試 験

桐朋女子高等学校音楽科

Ⅰ～Ⅲの各設問すべてに取り組み、それぞれの答えを解答用紙の所定の箇所に書きなさい。

注意事項

1. 問題用紙に落丁などある場合は、挙手をして申し出てください。
2. 退出は試験開始後 61 分経過してから可能です。ただし、終了時刻 5 分前以降の退出は、混乱を避けるために、認められません。
3. 終了時間前に退出する場合は、解答用紙の上に問題用紙を重ねて机の上に置き、挙手をして試験監督の許可を得て、静かに退出してください。

I・1 次の文章を読んで、後の問に答えなさい。

ロンドンの観光名所として知られる時計塔ビッグベンやウエストミンスター寺院。ここからテムズ川を横切った対岸に、ロンドンと南西地域を結ぶウオーターloo駅がある。そこから歩くこと約一〇分。下町の雰^{ふん}囲^き気が漂う通りを抜けると、小学校らしい建物が見えてくる。高い塀^{へい}にぐるりと囲まれた都会の校舎の全景は、通りからはよく見えない。番地を確認して重い扉を開けると、肌の色も様々な子ども達が楽しそうに遊んでいた。受付には、移民の父兄のために六カ国語で案内が貼^はり出されてあった。¹多文化都市ロンドンの一面である。

イギリスでは、メディアについて教えることが「国語」（イギリスにおける英語教育）の授業の一部に取り入れられている。日本でいう四年生の生徒たちは、まだまだあどけない。おしゃべりが止まないのを見かねた先生が、手を打ってアイズすると、教室がシーンとなった。

子ども達が大好きな、メディアの授業の始まりだ。

²「ステレオタイプって何だったか覚えてる？」

先生が問いかけると、空中にたくさんの手がのびあがった。

「ある特定のイメージで、人とか物について言うこと」。自信たっぷり男の子が答えた。

「コンピューター・ゲームのコマーシャルは、男の子しか出てこないでしょ。私だってやっているのにおかしいわ」と、女の子。

「食べ物のコマーシャルには、黒人がほとんどでてこない」。そう言ったのは、黒人の男の子。

「コマーシャルに出てくる家族は、決まって優しいお父さんとお母さん、かわいい男の子と女の子。おまけに、みんなとても幸せそう。でも、これって何か変じゃない？」。今度は、女の子が疑問を投げかけた。

「このクラスで両親がそろっていない子は？」と、先生が聞くと、半分近い子どもたちの手があがった。

生徒たちは、メディアの「現実」と自分たちの「現実」を比べることで、メディアが映し出す世界を認識する作業をしているのだ。コマーシャルは、商品を売ることを目的に「作られた」ものであり、現実そのものではないが、「女の子らしさ」「黒人より白人」「両親がそろった幸せな家族」というイメージは、子ども達のまわりにあふれている。授業では、それらが必ずしも「本当のこと」や「良いこと」や「典型的な例」でないことを、生徒たちに気づかせていく。授業は生徒主体で進行していき、先生はオーケストラの指揮者よろしく、子ども達の意見を引き出すのにテッ³ツ³していた。「生徒たちの言葉はつたないですが、彼らは大人が思っているよりもはるかに色々なことに気がついています。私の役目はそれを上手く引き出してあげることです」。

イギリスでは、「国語」（英語）の授業が確実に変わってきている。文字の読み書きや文学の読解に加えて、子ども達が日常的に接するテレビ、映画、ラジオ、広告のマスメディアについて教えることが定着しつつあるのだ。

ロンドン大学のデイビット・バッキンガム教授は、「国語（英語）の目的は、自分が身を置いている文化を理解することにあります。そうした意味で、いまほどその意義が問われていることはありません。複雑になった現代文化について、いかに教えるかは大きな課題です」と語り、メディアを教えることの重要性を指摘する。そのようなメディアを教える教育をメディア・リテラシー教育という。

メディア・リテラシーとは、ひと言で言えば、メディアが形作る「現実」を批判的（クリティカル）に読みとるとともに、メディアを使って表現していく能力のことである。最近⁴は、コンピューターを使いこなす意味での「コンピューター・リテラシー」や「情報リテラシー」とコンドウ⁵される場合もあるが、ここで言うメディア・リテラシーとは機器のソウサ⁶能力に限らず、メディアの特性や社会的な意味を理解し、メディアが送り出す情報を「構成されたもの」として建設的に「批判」するとともに

に、自らの考えなどをメディアを使って表現し、社会に向けてコウカ的にコミュニケーションをはかることでメディア社会と積極的に付き合うための総合的な能力を指す。

新聞・雑誌・映画、ラジオはもちろん、インターネットのホームページをチェックする時間などを加えれば、私たちは人生の大半をメディアとともにすごしている、といってもカゴンではない。情報社会への移行が加速するなか、私たちは、時間や空間を軽々と飛び越えて、地球の裏側で起こっていることを見聞したり、数世紀前の歴史上の出来事や人物についてさえ知ることができる。臨場感たっぷりのライブ中継を目にすることは、それがテレビカメラを通してものであることを忘れさせ、あたかも自分がその場に立ち会っているかのような錯覚を覚えさせるほどだ。実際に経験したことよりも、メディアが伝えるリアリティの方が、現実味を帯びていると感じることも少なくない。メディアが媒介する情報は、世の中を理解する上での中心的な役割を果たし、私たちの考え方や価値観の形成、ものごとを選択する上でもますます大きな影響力を発揮するようになっていく。

ところが、メディアが送り出す情報は、現実そのものではなく、送り手の観点からとらえられたものの見方のひとつにしかすぎない。事実を切り取るためにはつねに主観が必要であり、伝える情報は、取捨選択の連続によって現実を再構成した恣意的な（自分の好みや思いつき）ものであり、特別な意図がなくても、制作者の思惑や価値判断が入り込まざるを得ないのだ。また、ニュースは中立公平・客観報道といった建前と現実のギャップがある。実際に情報を送り出したことがある人なら、現実そのものを伝えることは不可能だということをも十分承知しているにもかかわらず、「ニュースが中立公平である」という神話は広く疑われてこず、検討を加えられることもほとんどなかった。メディアが社会において中心的な役割を果たしている今こそ、情報の送り手側はメディアが持つ限界を世にさらし、また、受け取る側もその現実に対峙する必要があるのではないだろうか。

世の中は、メディアを通しては語りきれないほどの矛盾を抱え、限りなく混沌とし、真実はとらえどころがないほど複雑である。「メディアはウソをつく」とひとりで片づけるのはたやすいが、メディア社会に生きる私たちは、メディアがもたらす利点と限界を冷静に把握し、世の中にはメディアが伝える以外のことや、異なるものの見方が存在することを理解し、社会に多様な世界観が反映されるよう、メディアと主体的に関わっていく責任があるのではないだろうか。そうした意味で、「メディアは現実を構成したものである」ことを出発点に、メディアを理解していくメディア・リテラシーは、情報社会に生きる私たちにとっての「基本的な読み書き能力」になるに違いない。

（菅谷明子著『メディア・リテラシー』、岩波新書。部分的に改編）

設問一 〜〜線部①〜⑥のカタカナを漢字に直し、⑦〜⑩の漢字の読みを書きなさい。

設問二 ——部1 「多文化都市ロンドンの一面である」とありますが、それはどのようなことを言っているのですか。本文にそって説明しなさい。

設問三 ——部2 「ステレオタイプ」として、子ども達が意見としてあげていることから本文から三つあげなさい。

設問四 ——部3 「彼らは大人が思っているよりもはるかに色々なことに気がついていきます」とありますが、それはこの文脈では具体的にどのようなことを指しますか。

設問五 — 部4 「そうした意味」とは、どういうことですか。本文から答えなさい。

設問六 — 線部「メディアはウソをつく」とありますが、これについて本文を踏まえてあなたの考えを述べなさい。

I・2 国語課題1の本文中にある次の語の対義語をア～コの中から選び記号で答えなさい。

6	1	下町	2	現実	3	主体	4	建設	5	総合
	6	加速	7	主観	8	真実	9	建前	10	複雑
カ	ア	単純	キ	イ	ク	ウ	ケ	エ	コ	オ
		減速				山の 手		破壊		客 体
								分析		虚 偽

II

次の英語を読んで、問に答えなさい。

1)As a junior high school student, Seiji Ozawa was taking piano lessons and playing rugby at the same time. “I’ll tell you what to do,” said his piano teacher. “Either give up piano or give up rugby.” But Seiji continued to play rugby. He ア(hurt) himself badly. He had to give up both piano and rugby. 2)But he loved music. He decided to become a conductor.

Seiji travelled to Europe to study music. 3)One day he ア(hear) about a contest for conductors. But it was past the deadline. “I know what I can do,” he イ(think). He went to see the woman in charge.

She said, “Are you a good conductor?”

Seiji answered, “Yes, I am a very good conductor.”

“Well then, you may enter the contest,” said the woman.

Seiji won the first prize. It was in イ1959, and this was his first step on the road of fame.

People asked Seiji how to enjoy music. イ)“Easy.” he said. “Don’t try to understand it. Just listen. Use your ears, not your head.”

Seiji still studies music. He gets up early and studies for five or six hours. イ)“Why do you study so much?” his family asks. “Because I don’t know enough yet,” he answers. He is a great conductor because of his lifelong-learning spirit.

註：

continue = ～を続ける

deadline = 締め切り

in charge = 担当の

enter = ～に出場する、参加する

fame = 名声

lifelong = 生涯続く

問1. 本文中のア～ウの（ ）内の語を過去形にしなさい。

問2. 下線部 1)、2)、3)、4)を日本語になおしなさい。

問3. 波線部 a)の年号の読みを英語のつづりで記しなさい。

問4. 本文中の英文を参考にして、次の日本語を英語になおしなさい。(数字もつづり字で記すと)

- (1) 私は早くベッドに行って、8時間寝ます。
- (2) 彼らは英語とフランス語を勉強しなければならなかった。
- (3) 彼はたくさんの友達を作るために、世界中を旅した。

問5. 波線部 b)を日本語になおしなさい。またそれについて、あなたの感じたこと、意見を5～6行程度の英語で書きなさい。

III

次の問に答えなさい。（解答欄には答えのみでなく、途中の計算式も書きなさい。）

- 問1 $6ab^2 \times (-2a) \div 4ab$ を計算しなさい。
- 問2 $\frac{1}{3}(x-3y) - \frac{1}{4}(4y - \frac{8}{3}x)$ を計算しなさい。
- 問3 $\sqrt{48} - \sqrt{12} + \sqrt{3}$ を計算しなさい。
- 問4 一次方程式 $2x+5=7-3x$ を解きなさい。
- 問5 二次方程式 $(x+2)^2 = -x+10$ を解きなさい。
- 問6 連立方程式 $\begin{cases} 4x+y=7 \\ 3x=4-2y \end{cases}$ を解きなさい。
- 問7 図1で、 $DE \parallel BC$ であるとき、 x の値を求めなさい。
- 問8 図2の円Oで、 $\angle x$ の大きさを求めなさい。

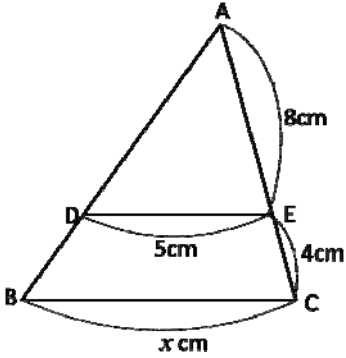


図1

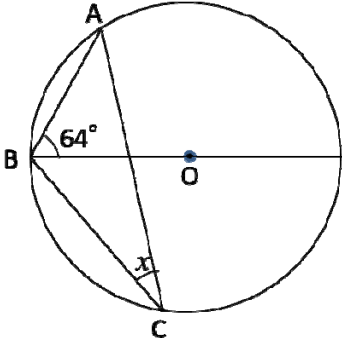


図2

- 問9 図3のように、 $AB=4\text{cm}$ 、 $BC=6\text{cm}$ の長方形ABCDがあり、辺ADの中点をEとする。点Pは点Aを出発し、辺AB、BC上を点Cまで毎秒1cmの速さで動く。点Pが点Aを出発してから x 秒後の $\triangle PBE$ の面積を $y \text{ cm}^2$ とする、ただし、点Pが点Bにあるときには $y=0$ とする。次の(1)と(2)の問いに答えなさい。
- (1) $x=2$ のときの y の値を求めなさい。
- (2) $y=9$ となる x の値を求めなさい。

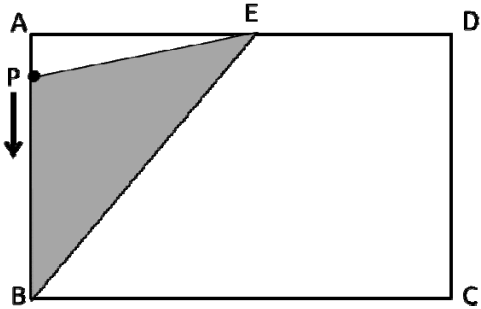


図3

解答用紙

専 門	
受付番号	
氏	名

--

I・1 解答欄

設問一

⑩	⑦	④	①
	⑧	⑤	②
	⑨	⑥	③

設問二

設問三

	③	②	①

設問四

設問五

--	--	--	--

設問六

--	--	--	--	--	--	--	--

I・2 解答欄

6	1
7	2
8	3
9	4
10	5

III

(解答欄には答えのみでなく、途中の計算式も書きなさい。)

問 1		問 2	
問 3		問 4	
問 5		問 9	(1)
問 6			(2)
問 7			
問 8			